

7月・8月に行われた主なSPH事業の報告をします。

① SPH特別講座

主体的に社会に参画し積極的に社会に貢献する力

7月18日(火)にはNPO法人 三方よし研究所理事長を務めていらっしゃる、ツカキグループ代表取締役社長塚本喜左衛門様に講演していただきました。「三方よし」の精神について非常に丁寧に説明いただき、体験談を交えながらわかりやすくお話していただきました。暑い中でしたが、生徒も集中して聴いていました。



《生徒の感想文から》

『「三方よし」のうち、「売り手よし」が「自分で立つ」「自分を律する」「儲ける」ということは、商売をする上に置いて必要だというお話はとても印象に残りました。』(3年男子)

『「才能<努力<習慣」というのは大切だと思いました。才能は生まれつきのものなので仕方ないですが、努力することや生活習慣をしっかりとすることによって才能がある人に追いつけるものだと思います。』(2年女子)

『商いを通じて「世間」のお役に立つ、さらにはその世間様に「ご恩返し」つまりは社会貢献できることが近江商人の目標である、ということ学びました。』(1年女子)

② 「てんびんの詩」映画鑑賞

高いコンプライアンス意識を持ち
企業の社会的責任を全うする力



7月6日(木)に1年近江商人探究の授業として、1年全員で「てんびんの詩」の映画を鑑賞しました。「なべぶた」を売りに出て、初めて商^{あきな}いに大切なものとは何かを感じ取る主人公に共感し、ここでも「三方よし」の精神を学び取ることができました。

《生徒の感想文から》

『「商売は天秤棒のように売り手と買い手がつり合わないといけない。」この言葉は本当にそうだなと共感しました。自分の都合だけで考えず、人のために思いながら商品を作る、そのことを分かってやっと一人前の商人になる主人公のように私も人のことを思いやれるような人になりたいと思います。』(1年女子)

『物を売ることは、自分のためじゃなくて、相手のためだということが分かりました。まさに三方よしのことだと思いました。人に頼ってばかりでなく自分から積極的に動き、失敗をどう生かしていくかということがとても重要だと思いました。』(1年女子)

③近江商人再生プロジェクト

高いコンプライアンス意識を持ち
企業の社会的責任を全うする力

7月22日(土)～28日(金)の期間で、第5回目の「近江商人再生プロジェクト」を行いました。各地区へ出向き、現地の高校生と交流しながら訪問販売・固定販売を行いました。



《生徒の感想文から》

『実際に県外で販売実習を行うと、断られることが多く最初はメンタルがボロボロになりました。でも、そこで諦めずに班で助け合い、励まし合うことができたからこそがんばってこれた実習だったと思います。』(3年)

『「三方よし」を学ぶことで自分だけを考えるだけではいけなくて、他人も気づかうことが周りや世間をよくするということがわかりました。』(2年)

『商品を販売するのは、思ったより難しく、なかなか売れませんでした。どうしたら買ってもらえるのか、満足してもらえるのか、すごく考えました。準備や販売実習はとても大変でしんどかったけど、それは、自分の将来に役に立つし、私も少しは人間として成長したんじゃないかなと思います。』(2年)

『友達の大事さ、人の大事さを知ることができました。自分を思ってくれる、時には心配したり怒ったりしてくれる友達がそばにいてくれる事のうれしさを改めて感じる事ができました。この1週間で、私は人として大事な事、努力すること、あきらめない事、人や物を大切する気持ちなど、たくさんの事を学ぶことができました。』(1年)

④全国高校生SBP(Social Business Project)交流フェア

主体的に社会に参画し積極的に
社会に貢献する力

8月18日(土)～19日(日)に第2回全国高校生SBP交流フェアが行われ、近江商人再生プロジェクトの内容を発表しました。全国23の団体が参加した中、ポスターセッションで「輝」の評価と東京学芸大学賞をいただきました。

